

参議院選挙の結果を踏まえて

川崎市議会議員 ほりぞえ健

(事務局)

7月29日に実施された参議院議員選挙で、民主党は大きく議席を伸ばしました。今回の選挙結果をどのように評価していますか。

(堀添)

今回の選挙では、年金問題やいわゆる「政治と金」の問題に対する批判が、こうした結果に結びついたといえます。しかし、マスメディアでもよく言われていることですが、「政権与党に対する批判票の受け皿として民主党が伸びたのであり、民主党を支持して投票したのではない」という意見は、必ずしも正しいわけではないと感じています。

まず第一に、今回有権者の多くが民主党を選択したのは、民主党の政策がより優れていると判断したからではない、という点は、そのとおりだと思います。私自身、今回の選挙中は、かつてないほど多くの有権者に、政策ちらしやマニフェストを受け取ってもらえたと感じましたが、しかし、政策の中身ということでは、十分伝え切れていなかったのではないのでしょうか。たとえば、年金問題にしても、民主党の改革の中身を知っている方は、ごく限られている。その意味でも、年金問題をはじめ、政権与党が官僚機構をコントロールできていない実態に対する批判票が、二大政党のもう一方に流れたということであると思います。

(事務局)

どこが違っているのでしょうか。



by A. Misawa

- 1963(昭和38)年2月6日、高津区に生まれ、高津小学校出身。桐朋中学、高校を経て東京工業大学を卒業。
- 東京都三鷹市で9年間、地域情報化やプライバシー保護等に従事。
- セブーンイレブン本部での情報システム構築をはじめ、ITを活用したシステムづくりに従事。
- 2003年4月、川崎市議会議員に初当選。
- 2007年4月、同2期目当選。
- 総務委員会副委員長
- ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟 共同代表
- 経済産業省 システム監査技術者
- 妻と長女(高校2年)の3人家族



(堀添)

前回の総選挙、いわゆる郵政選挙のことを思い出してください。「郵政民営化」が争点となり、全議席数の2/3以上を政権与党が占めたほどの圧勝となりました。しかし、こうした選挙結果が明らかとなったとき、少なくない有権者が、「これほど大勝させるつもりはなかった」といった「とまどい」を感じられていたのではないのでしょうか。しかし、今回の参議院選挙では、投票前から政権与党の大敗、とりわけ自民党は40議席を割るだろう、との予想がメディアでもたびたび報道され、結果も予想どおりとなったわけですが、「これほど大敗させるつもりはなかった」といったとまどいを感じた有権者は、ほとんどいなかったのではないのでしょうか。つまり、政権与党を過半数割れさせる、参議院で民主党を第一党にさせる、という意志をもって民主党に投票し、そのとおりとなった、のだと思います。言い換えれば、「自民党にお灸をすえる」ということだけにと

どまるのではなく、もう一步進んで「民主党のお手並み拝見」というところに有権者の意識はあった。民主党の政策を支持するわけではないが、現在の政権与党の実態は信頼に値しない、だから民主党を大勝させた、ということだと思います。

(事務局)

確かに選挙後も、政権与党に対する支持率は低下し続け、逆に民主党に対する支持傾向は強まっています。選挙結果が「予想外」ではなかったということですね。

(堀添)

はい。だからこそ、私たち民主党に与えられた責務は重いのです。

先ほどもお話ししましたが、有権者が政権与党に厳しい審判を下したのは、年金問題だけが焦点となったわけではありません。年金問題を通じて、政権与党が官僚機構・行政運営をコントロールできていない驚くべき実態が明らかとなったからです。

こうした、政権与党の状況に対する批判が、二大政党のもう一方である民主党に対し「お手並み拝見」となったわけですから、これからの国会運営は、民主党にとってまさに正念場であると思います。

(事務局)

9月以降の国会運営をどのようにすべきだと思いますか。

(堀添)

政府を解散総選挙に追い込むために、いたずらに参議院を空転させたり、あるいはなし崩し的に政権与党の政策を追認するようなことがあっては、有権者の期待に応えられないと思います。

大切なのは、国会論戦をまさに政策論争、合意形成の場として再生させることができるかどうか、ではないでしょうか。そのためにも、官僚機構に依存しない政策立案・運営の能力を、早急に身につけなければならないと思います。

(事務局)

ありがとうございました。

(2007年8月15日)

(事務局付記) インタビュー後、安部首相の退陣、自民党総裁選挙の実施と、政局が大きく流動しています。重要法案の審議が控えている中での国会の停止は、本当に残念ですが、いずれにせよ国会を政策議論の場に変えていくことが求められています。

【神奈川県選挙区得票状況】

		得票数			得票率		
		全県	川崎市	高津区	全県	川崎市	高津区
○牧山 弘恵	(民主)	1,010,866	149,705	24,348	25.4%	33.0%	32.3%
○小林 温	(自民)	895,752	123,152	17,486	22.5%	23.8%	23.5%
○水戸 将史	(民主)	781,533	118,494	15,898	19.7%	20.6%	21.6%
松 あきら	(公明)	691,842	106,130	16,487	17.4%	13.6%	13.1%
畑野 君枝	(共産)	385,619	72,184	10,175	9.7%	6.3%	6.3%
和田 茂	(社民)	128,757	17,982	2,415	3.2%	2.1%	2.7%
斉藤さちこ	(国民)	61,219	9,639	1,582	1.5%	0.6%	0.5%
溝口 敏盛	(諸派)	21,645	3,781	654	0.5%	0.6%	0.5%

【神奈川県選挙区投票率】 全県56.3% 川崎市56.0% 高津区54.0%

【民主党比例区当選者】

相原久美子	507,787	横峰 良郎	211,828	今野 東	111,453
吉川 佐織	306,575	藤原 正司	194,074	藤原 良信	110,125
青木 愛	297,034	川合 孝典	171,084	藤谷 光信	79,656
石井 一	292,271	風間 直樹	169,723	室井 邦彦	72,544
池口 修次	255,453	轟木 利治	166,969	大江 康弘	68,973
川村・マルティ	242,742	大島九州男	153,779	山本 孝史	67,612
神本美恵子	224,999	西岡 武夫	151,376		

9月定例会における主な議題

会期予定：平成19年9月3日～10月4日（32日間）

議案・報告の概要について

条 例：「川崎市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例の制定」他、計11件。
事 件：「川崎市土地開発公社定款の一部変更」他、計7件。
補正予算：「平成19年度川崎市一般会計補正予算」他、計6件。
決 算：「平成18年度川崎市一般会計歳入歳出決算認定」他、計21件。
報 告：「財団法人川崎市国際交流協会ほか23法人の経営状況について」他、計3件。

主な議案の概要について

「川崎市建築物における駐車施設の附置等に関する条例の一部を改正する条例の制定」

建築物の新築等をする場合に、自動二輪車（排気量125ccを越えるもの）用の駐車施設の附置を義務付けるもの。

対象となる建築物等：

- ア 駐車場整備地区または商業地域、近隣商業地域において、特定用途（商業施設、事務所、工場、倉庫等）に供する面積が1,500㎡を超える建築物。
- イ 周辺地区（上記地区および第一種・第二種低層住居専用地域を除いた市街化区域）において、特定用途に供する面積が2,000㎡を超える建築物。

附置義務台数の基準：

上記ア地区：

百貨店その他の店舗または事務所に供する床面積3,000㎡につき1台。
それ以外の用途に供する床面積8,000㎡につき1台。

上記イ地区：

特定用途に供する床面積8,000㎡につき1台。

施行予定期日：平成20年4月1日

「川崎市立学校の設置に関する条例の一部を改正する条例の制定」

白山小学校と王禅寺小学校を統合して王禅寺中央小学校とし、白山中学校と王禅寺中学校を統合して王禅寺中央中学校とするもの。

統合される小学校：

白山小学校	麻生区白山2丁目1番1号	昭和56年4月1日創立
王禅寺小学校	麻生区王禅寺東4丁目14番1号	昭和54年4月1日創立

統合後の小学校：

王禅寺中央小学校	（王禅寺小学校と同じ）	平成21年4月1日開校
----------	-------------	-------------

統合される中学校：

白山中学校	麻生区白山1丁目1番1号	昭和56年4月1日創立
王禅寺中学校	麻生区王禅寺東4丁目14番2号	昭和55年4月1日創立

統合後の中学校

王禅寺中央中学校	（王禅寺中学校と同じ）	平成20年4月1日開校
----------	-------------	-------------

「川崎市立高等学校授業料等徴収条例の一部を改正する条例の制定」

改定内容：全日制過程の授業料月額9,600円を9,900円に。

定時制過程の授業料月額2,600円を2,700円に。

施行予定期日：平成20年4月1日（ただし在学学生は従前のまま）

